

教育DX推進に向けた人材育成事業費 企画運営業務委託 企画提案募集要項に基づく質問に対する回答

番号	質問受付日	質問	回答
1	5月19日	業務委託仕様書の「5 業務成果の取り扱い」の(2)において「①本業務により制作された動画、撮影素材等の成果物の所有権、著作権及びその他の権利は、山梨県に帰属するものとし、山梨県はウェブサイト等に随時使用、複製できるものとする。」とありますが、委託者がもともと保有する知的財産権(特許、実用新案、意匠、商標、著作権、ノウハウまたはその他の知的財産権)に関しては、委託者の帰属として、両社共有(相互に自由利用可能)という認識でよろしいでしょうか。	企画運営業務委託仕様書5(2)①において、「成果物に第三者の著作物が含まれている場合、当該著作物(当該著作物を改変したものを含む)の著作権は、従前からの著作権者に帰属するものとするが、県は、これを無償で、非独占的に使用できるものとし、受託事業者はそのために必要な著作権処理を行うこと。」と記載しているとおりです。
2	5月19日	業務委託仕様書の「2 事業の概要」の(4)において「・研修内容は、DX推進に参考となるデジタル技術(AI、ノーコードプログラミング等)の体験を通じ、管理職として自らの業務等におけるデジタル技術を活用した課題解決等の企画立案の参考となるようなワークショップとすること。」とありますが、DXの取り組みに至っていない学校現場(対象者は管理職)において、AIやノーコードプログラミングをどのように活用される想定でしょうか。AIやノーコードプログラミングを体験することの目的をご教示いただければ幸いです。	AIやノーコードプログラミングを体験することの目的は、「AIやノーコードプログラミングに触れることで、デジタル技術を活用したDXを体感し、デジタル技術の活用が様々な場面における業務改善等につながる事を実感すること。」すなわち、教育現場におけるDXに関するマインド醸成を目的としています。
3	5月19日	業務委託仕様書の「2 事業の概要」の(1)において「デジタル技術等が体験できるワークショップ形式の研修」とありますが、各学校のタブレットの配布状況についてお伺いできますでしょうか。オンラインワークショップでタブレット端末から参	優先交渉権を得て、業務委託契約を締結した後であれば、各自自治体で使用している端末情報や、使用しているOS等に関する情報提供は可能です。メールアドレス情報の提供も同様の取扱いとご理解ください。

		加いただくことを想定したご提案が可能かを確認したいのが質問の意図となります。また、メールアドレスを登録するツールの提案を検討しております。参加者にメールアドレスを登録いただくことを想定しておりますが、そのようなご提案は可能でしょうか。	
4	5月19日	学校業務とは具体的にどのようなことを指すでしょうか？学校における先生方の校務を指すという理解で宜しいでしょうか？	ご指摘のとおりです。
5	5月19日	研修開始、終了時間の制限（17時30分以降は不可など）、並びに休憩時間の目安についてご教示願います。	学校ごとに勤務時間が異なるため、研修時間の制限は実施回数ごとに変動する可能性があります。休憩時間の目安は90～120分に1回10～15分程度を想定しております。また、昼の休憩時間は60分を想定しております。
6	5月19日	全8回のうち、事前に受講者様の通信環境を踏まえ、Microsoft OSの受講回、Google OSの受講回と設定することは可能でしょうか？	実施回毎の受講人数に差が出るのが想定されますが、OSごとに区切った形で、研修実施回を区分することは可能です。
7	5月19日	Microsoft OSとGoogle OSそれぞれの標準ツール（例えばMicrosoft OSならExcel、Google OSならスプレッドシートなど）、利用ドライブをご教示願います。	Microsoft OS採用自治体であれば、One DriveをはじめとしたMicrosoft社のアプリケーション、Google OS採用自治体であれば、Google driveをはじめとしたGoogle社のアプリケーションを使用しているとご理解ください。
8	5月19日	研修に際しデジタルデータの授受、閲覧、利用を行う関係で、学校側からセキュリティ上、外部のドライブ、ストレージへのアクセスはできますでしょうか？左記が難しい場合、学校側の環境下（イントラネットなど）で確認、利用できるものはございますでしょうか？	優先交渉権を得て、業務委託契約を締結した後に、県教育委員会による、外部のドライブ、ストレージへのアクセスに関するヒアリング等の結果及び、学校側の環境下（イントラネットなど）で確認、利用できるものに関するヒアリング等の結果を情報提供することは可能です。現状としては、自治体ごと採用し

			ている OS のドライブにはアクセス可能であると認識しております。
9	5月19日	接続テストは、随時ではなく、実施日を複数回定め希望日にご参加頂く形式で宜しいでしょうか？	ご指摘のとおりです。
10	5月19日	全8回のうち、例えば4回目以降において、プログラム内容・構成の一部を変更することはできますでしょうか？	受講回の違いにより、研修受講者にとって不利益を被るような状況は認められません。しかしながら、優先交渉権を得て、業務委託契約を締結した後に、県教育委員会と相談の上、許可を得た場合は、変更が認められます。